

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第224号

令和6年(2024)10月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○
小山3-14-1 (〒142-0062)
TEL 3786-2000

花めぐり

柏の木



小山小学校校門横で
9月撮影

柏の木は10～15mの高さまで成長するブナ科コナラ属の落葉広葉樹です。秋になると葉を落とす落葉樹に属しますが、柏の多くは枯れ葉をつけたまま春を迎えます。また、木の皮が厚く硬いため、風の強い場所や寒冷地でもよく育つことから、防風林に使われたり建材に利用されたりする高木樹木です。この柏の木が小山小学校校門横に植えられており、学校地域コーディネーター宮本庸子さんが小山小コミュニティスクール活動報告で案内されています。

『柏の木は端午の節句の柏餅を包む葉として知られています。春に新芽が出るまで秋に紅葉した葉が落ちないという特性があり、とても縁起の良い木とされます。小山小学校や荏原第六中学校の校章の由来であり、良い伝統が途切れないでずっと続いていくようにという思いが込められています。』

令和8年度に小山小学校は開校100周年を迎えますが、子供たちの成長と共に現在5m程の柏の木の成長も楽しみです。

(小山四丁目・東 美佐栄)



夏の企画当日の様子

今やお風呂のない家庭はほとんどないと思いますが、銭湯は65歳以上には「出合いの湯」といって特にふれあいの機会を提供してくれたりもしますし、美容と健康の増進を兼ねて一度行ってみてはいかがでしょう？

(荏原二丁目・伊藤 茂実)

現在の入浴料金は大人は550円、都内共通入浴券なら10枚綴りで5,000円です。

来年は荏原四丁目町会が当番町会を務められるとのことですので、成功をお祈り申し上げます。
(小山五丁目・飯沼 賢治)

今では「ワッショイ」ではなく「アリアソリヤ」の掛け声で担がれています。『神が来た』という意味だそうです。懐かしい温もりのある伝統行事は、山車をひいた幼子や、こども神輿を担ぐ少年少女たちが、勇壮な祭りを率いる大人たちの姿を憧れとして育ち、引き継がれていくものと確信しました。
(小山台一丁目東・佐藤 年子)

また当日は、線香花火をどれだけ長く灯せるかを競う「線香花火耐久アタック」も同時に開催しました。所定の時間まで花火を落とさなかったお子様には、可愛いカラフルな缶バッチをプレゼントしました。企画のフィナーレはナイアガラの花火でした。まさに滝のよう

者の皆様は見入っており、拍手が起こり、大成功のイベントとなりました。青少年対策荏原第一地区委員会では夏の企画の他にも春の運動会、秋・冬のバスツアー等、季節毎に事業を開催しております。ご興味がありましたらぜひご参加をお待ちしております。
(荏原第一地域センター)

「銭湯の日」
品川の銭湯に行きませんか？



皆様は10月10日が「銭湯の日」だということをご存じですか？1010で千十(せんとお)という語呂合わせですが、銭湯は区内には22軒あり、「品川銭湯マップ」も配布されています。私は銭湯が好きで、大きな湯船にゆったり入り、ジェットバスや電気風呂で身体がほぐれると、その日はぐっすりと眠れます。この辺は銭湯でも天然温泉が多く、泉質は通称黒湯といつて褐色で湯船の底が見えないくらいです。

お風呂がある家庭がまだ少なかった頃から、日本人は公衆浴場という施設を利用していました。公衆浴場の歴史は古く、鎌倉時代の文獻にはすでに「銭湯」という言葉を見ることができ

小山両社祭



戸越八幡例大祭



地区委員会
夏の企画



町会活動紹介

すいか割り
(小山四丁目町会)

小山四丁目町会では毎年8月に三谷八幡神社境内で町会行事のすいか割りを行っています。

今年も天候に恵まれ、大勢の子供たちが参加してくれました。普段はなかなか見ることのない5Lサイズの立派な大玉すいか割りに子供たちは何度も何度もチャレンジしますが、なかなか割れません！ようやく割れたすいかはその場でカット、みんなでおいしくいただきました。他にもかき氷や輪投げ、ヨーヨー釣りをやったりと地域の方の交流の場として楽しい時間を過ごすことができました。来年も開催しますので、ぜひ「夏」を感じにいらしてください。

今年度より広報部を設けました。町会や周辺の行事予定やその様子などお伝えしてまいります。皆様どうぞお楽しみに。
(小山四丁目・青少年部長 中林 正一)



すいか割りの様子 広報部撮影